

21世紀



学校教育目標：心豊かで たくましく生きる子どもの育成

令和7年7月11日

わくわくチャレンジタイム やってみたいに挑戦!

今年度、後閑小学校では、子どもたちが「やってみたい」に挑戦する「わくわくチャレンジタイム」の時間を設けています。誰かに決められるのではなく、やらされるのではなく、自分でやりたいことを決めて実行するという体験活動です。想像力、思考力、発想力を養い、コミュニケーション能力や自己受容感を高めたいという教職員の願いから始まっています。

毎週金曜日の朝の活動(15分間)と1か月に1~2回の授業時間(45分間)を使って、同じ志の仲間と力を合わせて取り組んでいます。グループは、「ダンス」「お店」「たいこ」「メバル(アート作品)」「おにごっこ」の5つです。

学びの成果やプロセスを11月の学習発表会で披露しようと頑張っています。今回は、「ダンス」「お店」「メバル」のグループの様子をお知らせします。

ダンスグループ

自分たちが選んだ曲に合わせて、両手にもった旗を振りながら踊ります。振付けを覚えるために練習しています。休み時間にも自主的に練習する光景が見られます。



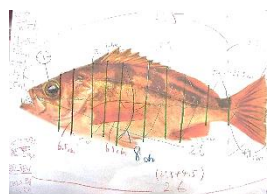
お店グループ

食べ物のお店を計画中です。メニューは、ラスク、大学いも、フランクフルト、サンドイッチなどを考えていましたが、本当にできるのか、夏休みに集まって試してみるそうです。



メバルグループ

巨大なメバルを制作しようと設計図を描きました。必要な材料を集めるために、チラシを作って、地域に広く呼びかけています。



そんな中、秋に開催される後閑地区のお祭りの実行委員の方から出店のオファーがありました。お店グループに伝えると「やりたい!」の一言。10月の祭りに向けて準備していくこととなりました。

すると、ダンスグループが「私たちもお祭りに出たい」となり、こちらも参加できるように頑張ることになりました。子どもたちのやる気にとっても嬉しくなりました。

祭りは休日開催のため、送迎など保護者の支援が必要となります。お忙しいとは思いますが、なにとぞ、子どもたちの挑戦を温かく応援していただきたいと思います。